



題字は創立者 柴田徳次郎筆 発行所 学校法人国士館 千154-8515東京都世田谷区世田谷4-28-1 編集 広報課 TEL 03-5481-3115



国士館大学新聞はウェブサイトでもご覧になれます



www.kokushikan.ac.jp/information/public_relations/news_paper/ 年4回・27日発行 (1・4・7・10月)

卒業生の皆様へ いつも国士館大学新聞をご愛読いただき、ありがとうございます。発送停止やご住所の変更は下記までご連絡くださいますようお願いいたします。 同窓会事務局 TEL：03-3413-7303 [平日9:00～17:00]

今号の紙面

- 理工学部創設60周年祝う... [2面]
令和5年度卒業式を挙行... [4面]
教養5科目群に体系化... [6面]
AS小林選手パリ五輪出場獲得に貢献... [8面]

課題解決できる人材へ

本学は4月1日、令和6年度入学式を、パシコ横浜国立ホテルで午前午後に分けて挙行し、新入生3231人が入学した。当日は会場の様子をライブ中継した。
午前の部では、政経、体育、経営の3学部と政治学、経営学、スポーツ・システム、教育システム、経営学の大学院5研究科、午後の部では、理工、法文、21世紀アジアの4学部と工学、法学、総合的財産法学、人文科学、グローバルアジアの5研究科の新入生が式典に臨んだ。



式辞を述べる佐藤学長（午前の部）

佐藤学長 式辞 「裾野の広い教養を」「明確な目標持つて」
大澤理事長 祝辞 「明確な目標持つて」

佐藤学長は式辞で、課題解決型人材の養成に、多様な価値観や考え方をもちた学生が集まることを求めた。最後は、新入生代表宣誓は、午前の部で川端祥明さん（体育学部）、午後の部で寺田道天さん（理工学部）が、それぞれ力強く誓いの言葉を述べた。



新入生代表宣誓の体育学部・川端祥明さん（午前の部・写真右）と理工学部・寺田道天さん（午後の部・写真左）

佐藤学長は式辞で、課題解決型人材の養成に、多様な価値観や考え方をもちた学生が集まることを求めた。最後は、新入生代表宣誓は、午前の部で川端祥明さん（体育学部）、午後の部で寺田道天さん（理工学部）が、それぞれ力強く誓いの言葉を述べた。

新入生代表宣誓は、午前の部で川端祥明さん（体育学部）、午後の部で寺田道天さん（理工学部）が、それぞれ力強く誓いの言葉を述べた。



新生活に期待を膨らませる新入生ら

「全学共通教育」を開始 教養5科目群に体系化
本学は教養教育の見直しを完了し、令和6年度から新たな「全学共通教育」を開始した。科目は、国士館を学ぶ「人間と社会」「サイエンスと情報」「スポーツと健康」「芸術」「グローバル社会」に対応した外国語を学ぶの5つの科目群で構成され、4年間を専門科目や基礎科目と相互に履修する。
「知識・技能」「高い公共性・倫理性」の修得が目的で、学部・学科・学年に関係なく、興味や関心に応じて自由に学ぶことができる。自校教育国士館を知る「おまひ」「AIとサイエンス」は必修科目と設定された。
科目設定にあたっては、修学のねらいが理解しやすく、成果を実感しやすいこと、建学の精神および教育理念、3ポリシーとの整合、各学部の専門科目との融合の3つを共通理解のもと合意形成を図った。
（3面に詳細）

456人「可能性広げよう」 中高入学式
令和6年度国士館高等学校・中学校の入学式が4月7日、世田谷キャンパスで挙行された。新入生456人が参加した。
渡邊隆校長は式辞で、国士館の教育理念と四徳目を紹介した上で、「知識を得て頭で理解するだけではなく、行動に移すことが真の学びになる。学校生活を全力で取り組み、自身の可能性を広げ、社会に貢献できる人材へと成長していくことを願う」と激励した。

「障がい学生支援室」設置 学部とも連携
本学は令和6年4月から、障がい学生支援室を新たに設置し、障がい学生に対する支援を強化した。理由とする差別の解消の推進に関する法律が改正・公布、令和6年4月から施行され、すべての大学において合理的配慮の提供が法的に義務付けられた。

事業テーマは「KX」 キャンパス整備基本構想固まる
本学が進めるキャンパス環境整備計画「環境整備事業」について、このほど基本構想が（議長大澤英雄理事長）おまひ作業部会（瀬野会長）を設立し、事業期間、令和16年度まで10年間、第二の建築計画を策定した。
「第二の建築計画を策定した」として、令和4年9月の理事会で承認された後、国士館から、基本構想の策定に「KX」国士館、

地域社会へ貢献 推進 国士館大学と世田谷区との包括連携協定締結式
今後の連携を誓う保坂区長（右）と佐藤学長

包括連携協定を締結
本学と世田谷区は2月9日、一学長、村上純一地域連携・社会貢献推進センター長ら4人が、協定内容を説明の後、保坂区長と佐藤学長がそれぞれ協定を締結した。
協定内容は、縮小後のあいさつで保坂区長は「区として多様な主体との連携の推進、知的・物的資源の相互活用、調査研究および事業の共同実施で、連携・協力関係を構築し、地域課題の解決に貢献する」と述べ、より緊密な関係構築を期待した。

Table with 2 columns: 学期 (Spring/Autumn) and 学年暦 (Events like 4月入学式, 春期ガイダンス, etc.)

令和6年度 国士館大学教育懇談会 (旧父母懇談会)
詳細・お申込みは個別にお送りするか案内状または大学WEBサイトをご覧ください
開催日、会場、対象、おまひプログラム

先進キャンパス 次世代をけん引

世田谷校地整備 基本構想



基本構想では、まず地域交流文化センターを含む梅ヶ丘エリアに新棟(仮称「梅棟」)を建設した後、既存の建物5棟の解体・建設を順次行う。梅棟の着工は令和7年度を想定している。事業規模は、最大3万9000㎡。本構想を基本に着工・完成に向け計画を固め、より具体的な進捗を公表する。(1面参照)

価値観の変化へ 急がれる対応

本学の有する世田谷・町田・多摩の3キャンパスのうち5学部7研究科の学生約9000人が学び、法人本部を置く世田谷キャンパスは、平成29年の創立100周年。その一方で、既存建物の老朽化による修繕費の増加やICT・デジタル化への対応など、設備更新に向けた検討が急務となっており、本学は、環境負荷の低減への対応や、世田谷キャンパス全体の整備・充実を図るべく、基本構想を公表している。

7年度着工を想定 事業規模3万9000平米

本学は、平成29年の創立100周年。その一方で、既存建物の老朽化による修繕費の増加やICT・デジタル化への対応など、設備更新に向けた検討が急務となっており、本学は、環境負荷の低減への対応や、世田谷キャンパス全体の整備・充実を図るべく、基本構想を公表している。

基本構想概要

計画予定地	東京都世田谷区
対象敷地面積	56,773㎡ (2023年2月1日現在)
建て替え予定建物	5号館、6号館、7号館、8号館、10号館および地域交流文化センター棟
延床面積	35,209㎡ (建て替え予定建物の合計)
修学学部	学部: 政経、理工、法、文、経営
修学研究科	政治学、経済学、経営学、法学、総合知的財産法、工学、人文科学
修学学生数	8,772人 (2023年5月1日現在)
事業期間	2025年～2034年 (約10年)

全学共通教育開始に向け FDシンポ 佐藤学長が趣旨説明

本学FD委員会による第30回FDシンポジウムが3月16日(オンライン)で開催され、教職員約150人が参加した。シンポジウムでは、令和5年度の活動報告に加え、令和6年度から始める全学共通教育科目について取り上げ、全教職員への共通理解を図った。

佐藤学長は、FDシンポの趣旨を説明し、全学共通教育の重要性を強調した。FDシンポは、教職員が互いに学び合い、共通の目標に向かって取り組むための場として機能している。



学長賞・学術研究奨励賞 33人に授与

令和5年度学長賞・学術研究奨励賞授与式が3月7日、世田谷キャンパスの国士館大講堂で執り行われた。佐藤学長が代表し、3人の教授から式典の謝意とともに、研究内容の紹介や今後の活動へのさらなる意気込みが述べられた。

【学長賞】 神野誠(理工学部教授)

【学術研究奨励賞】 田久浩志(体育学部教授) / 喜名朝博(同教授) / 松崎周文(文芸学部教授) / 河野正(山崎ゼミ) / 山崎登(防災・救急救助総合研究所)

競争的研究課題一覧

事業名等	氏名	所属・職名	研究課題等
公益財団法人トランスコスモス財団「2023年学術・科学技術等の分野への助成事業」	砂田恵理加	政経学部 教授	国際交流に活用できるオンライン・コンテンツの開発
国立研究開発法人科学技術振興機構「国際青少年サイエンス交流事業 - 第3回さくら招へいプログラム -」	船波和男	体育学部 特任教授	先端的科学技術を活用したスポーツ・健康科学研究の国際交流によるグローバル化の促進
公益財団法人天田財団「2023年度 天田財団助成 (一般研究開発助成)」	モフィディ タバタハメッド	理工学部 准教授	摩擦接合成形を用いた制御用超塑性複合鋼板の創製とその接合メカニズムの解明
公益財団法人天田財団「2023年度 天田財団助成 (国際会議等参加助成)」	モフィディ タバタハメッド	理工学部 准教授	Effect of Friction Stir Forming Parameters on Mechanical Properties and Plastic Flow of Material in the Mechanical Interlocking of Optical Fiber and SP-700 Superplastic Titanium Alloy

国士館史資料室 だより

専門学校新入生の日記。昭和17年(当用日記)の日記を公開し、当時の学生生活や学業の様子を紹介している。

昭和17年(当用日記)の日記には、入学試験の準備や、先輩からのアドバイス、そして入学後の生活の始まりが記されている。当時の学生たちは、学業と並行して、戦時下の環境に適応しながら学んでいたことが読み取れる。

著書紹介

これからの体育科教育は どうあるべきか

世界初の柔道の「足技」だけの動画でよくわかる！教科書

「探究学習」とは、今、向かい合おう！

これからの学校を創る校長の10のマインドセットと7つの思考法

目で見える憲法 第6版

前八時より、道橋古は歴史科新入生と...

5日(平) 前八時より、道橋古は歴史科新入生と...

18日(日) 今日、地歴科の頭張るつ、30日(五) 間目生理解衛生学。後、武道橋古は歴史科新入生と...

1917年、「活学」を講ずる教育道場として、吉田松陰の精神を範とした私塾「国士館」が誕生しました。

以来、学ぶ者みずからが不断の「読書・体験・反省」と「思索」を実践しつつ、「誠意・勤勞・見識・気魄」の涵養を教育理念に掲げ、さまざまな分野で活躍する人材を輩出してまいりました。

創立100周年を迎えた国士館は、これからも世のため、人のために尽くせる人材「国士」の養成を目指してまいります。

国士館の教育理念

「誠意」とは、真心と慈悲の心で、世のため、人のために尽くすこと

「勤勞」とは、向上心を持って、誠実に仕事をすること

「見識」とは、道理のものと、物事を見抜く力をもつこと

「気魄」とは、信念と責任を持って、強い心でやり通す力のこと

国士館の建学の精神

「物質文明」を統御する「精神教育」を重視し、「心身の修練」と「知徳の精進向上」を目指し、国家社会の将来を思い、世界の平和と国家社会の改革向上に貢献する人材、即ち「国を思い、世のため、人のために尽くせる人材「国士」の養成」を目指す。

国士館の教育指針

四徳目を備えるには、不断の「読書・体験・反省」を實踐し「思索」すること。

「読書」とは、善き書物に学び、世の中や自然界の真を理解すること

「体験」とは、智慧を持って善悪を判断し、善なる判断を実行すること

「反省」とは、何事も行なった後、その行為を省みること

「思索」とは、省みた内容を検討し、次なる目標を立案すること

マスコミを追求

危険な「女子高生」に定まる「フェイク」の真実

「結城麻生」の真実

「おぼろ」に託した、日本の未来

「おぼろ」に託した、日本の未来

「おぼろ」に託した、日本の未来

令和5年度 卒業生 —— それぞれのステージへ



「コロナ禍の大学生活で得たものは何ですか」

令和2年度の入学式は中止になり、新入生は9月に初めてキャンパスに通学しました。オンライン授業、制限下の課外活動、パーティー越しの会話——制限のある中でキャンパスライフがスタートしました。そんな中でも、課外活動やゼミ合宿、学園祭、卒業研究、就職活動などを通して、友人と出会い、支え合い、成長を重ねてきた学生たち。3月には、入学式をはずだったその場所で卒業を迎えました。コロナ禍の大学生活で得たものを聞くと、明確な答えを胸に、新たな一步を踏み出そうとする一人一人の笑顔がありました。

大学生活で培った力を糧に、それぞれのステージで学び続け、人生を切り開いていくことを願います。卒業おめでとう。



復旧支援 幅広く

能登半島地震被災地



地震で倒壊したブロック塀を撤去するボランティア

ボランティア 3期71人派遣

本学は、1月1日に発生した令和6年能登半島地震により被害を受けた石川県七尾市に学生ボランティアを派遣した。活動は3期に分け、2月16日から23日に16人、同28日から3月2日に14人、同4日から7日に41人の合わせて71人が参加した。

派遣に当たっては、1月から2月にかけて本学教職員が3度七尾市を訪れ、物資支援・支援ニーズ調査、周辺施設・団体の活動状況などを調査し、準備を進めた。参加したのは、本学の防災力キックアップ・防災リーダー養成講座受講生、ボランティア活動の経験を持つ学生が中心で、各期間で本学防災・救済活動センターの教職員が統括指導・調整に当たった。学生からは国際医療福祉大学附属病院、聖隷聖院、聖隷医療センター、聖隷聖院看護専門学校七尾校を拠点とするボランティアの連携・周知、専門学校の片付け・清掃、

被災家屋のれがれ撤去、傾いたブロック塀の撤去などを行った。部隊を指揮した同研究所の浅井大地助教は現地での状況について「ボランティアの経験を活かして、被災地を支援する機会を得た。ボランティアの経験を活かして、被災地を支援する機会を得た。ボランティアの経験を活かして、被災地を支援する機会を得た。」

救護 118件に対応

東京マラソン



ランナーを支援する救護隊チーム

3月3日に開催された東京マラソン2024で、本学体育学部スポーツ医科学科の学生や教職員、救急救命士の資格を持つ卒業生など206人が、救護隊として参加した。

大会運営をサポートした。2007年の第1回大会から協力を続ける本学は、AEDを身につけた救護隊として参加した。また、東京マラソン連年として、2月29日から3月2日にかけて東京マラソンEXPO2024が東京ビッグサイトで開催され、本学は協力団体としてブースを出展した。



出展ブースで心肺蘇生法をレクチャーする学生

心肺蘇生法 273人体験

また、東京マラソン連年として、2月29日から3月2日にかけて東京マラソンEXPO2024が東京ビッグサイトで開催され、本学は協力団体としてブースを出展した。

会場では、東京マラソンの救護隊に関する展示や、本学の活動を紹介したほか、スポーツ医科学科の学生および救急救命士の資格を持つ本学職員による心肺蘇生法実演も実施された。海外からの来場者も多く訪れ、3日間約73人が体験した。

チャリティイベント 300人観覧



アーティスティックスイミング部が開催

本学アーティスティックスイミング部(旧シン島地震復興支援チャリティスイミング部)は、2月24日、能登半島地震被災地を支援するチャリティイベントを開催した。会場には約300人の観客が訪れ、演じたのは同部員と卒業生、同部出身の職員。同部員は「チャリティスイミング部」として活動している。本学は、被災地を支援するために、チャリティスイミング部を開催した。会場には約300人の観客が訪れ、演じたのは同部員と卒業生、同部出身の職員。同部員は「チャリティスイミング部」として活動している。本学は、被災地を支援するために、チャリティスイミング部を開催した。

国交省地盤調査団で尽力

このほか、医師、救急士としての資格を持つ本学所属の教職員が、救急隊員として国交省地盤調査団に参加し、被災地での活動に尽力した。調査団は、被災地の地盤調査を行うため、被災地を訪れた。本学は、被災地を支援するために、国交省地盤調査団に参加した。調査団は、被災地の地盤調査を行うため、被災地を訪れた。本学は、被災地を支援するために、国交省地盤調査団に参加した。

災害義援金 日赤に寄付

令和6年能登半島地震で被災された方々の支援を目的に、本学は1月17日から2月7日まで各キャンパスに災害義援金の募金箱を設置して、学生・生徒、教職員から義援金を、2月24日に復興支援チャリティスイミング部を通じて、日本赤十字社「令和6年能登半島地震災害義援金(石川県・富山県・新潟県)における被災地全域への寄付を行いました。」

協力をいただいた皆様、厚く御礼申し上げます。学校法人国士館

島崎ゼミが「最優秀賞」

全国71チーム参加の研究発表会



経営学部の島崎ゼミは、12月24日に開催された第8回アカソートファイナンス大会で、全国71チームが参加した研究発表会において、最優秀賞を受賞した。

本学は、被災地を支援するために、島崎ゼミが最優秀賞を受賞した。研究発表会では、島崎ゼミが最優秀賞を受賞した。研究発表会では、島崎ゼミが最優秀賞を受賞した。

楽しく基礎体力向上

「こどもスポーツ教室」開催

体育学部 面白さを指導



体育学部は、町田市に住む小学生約20人が集まる「こどもスポーツ教室」を開催した。この教室では、小学生が楽しく基礎体力を高めるプログラムや、さまざまなスポーツを楽しむことができる。2月24日は、ゴール型

鏡味さんに学生奨励賞

ピアノの感情を数値化



理工学部電子情報学系の鏡味ほのかさん(理工4年)が、3月11日から13日にかけて開催された「第20回ヒューマンコンピュータインタラクション研究会」において、学生奨励賞を受賞した。研究テーマは「ピアノの感情を数値化する」というもので、ピアノの演奏と感情との関係を数値化し、その関係を分析した。

フィリピン貧困地域調査

上村ゼミ 施設児童の絵画を展示



本学政経学部の上村信一ゼミが、2月12日、日本福祉大学で「フィリピン貧困地域の子どもの生活」と題して、施設児童の絵画を展示した。上村ゼミは、フィリピンの路上で生きる子どもたちの現状を調査し、その現状を絵画を通じて表現した。上村ゼミは、フィリピンの路上で生きる子どもたちの現状を調査し、その現状を絵画を通じて表現した。

ハンガリーで武道実習

体育学部武道学科

ナショナルチームと合同稽古も



ハンガリー国立体育大学の学生との交流の様子

体育学部武道学科の海外武道実習が2月14日から23日にかけてハンガリー・ブダペストで実施された。学生15人が参加し、ハンガリー国立体育大学のナショナルチームと合同稽古を行った。本実習は、海外に広まった日本の武道がどのように受け入れられているかについて、体験を通して学び、国際的に活躍できる武道指導者の養成を目的として、平成14年度から行われている。

佐々木さん 優秀講演賞受賞



本学大学院工学研究科で神野誠研究室所属の佐々木さん(修士2年)が、12月14日から16日にかけて開催された「第24回計測自動制御学会(SICE)部門講演会」において、優秀講演賞を受賞した。発表題目は「ロボットの自律制御」で、ロボットの自律制御に関する研究について発表した。

令和6年度 国士館大学入学者選抜結果(確定数)

学 部	学科等	志願者	受験者	合格者
政 経	政治行政	1,021	964	379
	経済	2,322	2,168	946
	計	3,343	3,132	1,325
体 育	体育	867	827	363
	武道	121	121	120
	スポーツ医療	715	695	226
	こどもスポーツ教育	304	284	214
計	2,007	1,927	923	
理 工	理工	1,910	1,708	883
	計	1,910	1,708	883
法	法律	1,129	1,055	512
	現代ビジネス法	591	570	349
	計	1,720	1,625	861
文	教育	810	770	265
	史学地理	1,085	1,014	686
	文	780	721	323
計	2,675	2,505	1,274	
21世紀	21世紀アジア	1,052	918	622
	計	1,052	918	622
経 営	経営	2,160	2,001	602
	計	2,160	2,001	602
総 計		14,867	13,816	6,490

※編入学・転入者を除く

総志願者数 14867人

本学は令和6年度入学選抜において、入学者の受け入れの方針(アドミツ)に基づき、「総合型選抜」学

一般選抜の3区分により選抜を実施した。総志願者数は14867人、受験者数は13816人、合格者数は6490人だった。

オープンキャンパス

多様な特色 1100人が実感



令和7年度入学者希望者対象のオープンキャンパスを開催

当日は、約1100人が参加した。来場者からは「施設が充実している」「図書館の蔵書が豊富で勉強できる」「キャンパス内は文化財もあって歴史を感じさせる雰囲気がある」といった声が多く聞かれた。

OPEN CAMPUS 2024

イベント情報は随時ホームページで更新中!

夢を見つけよう、叶えよう。そのための一歩を、踏み出そう。

世田谷キャンパス
6.9 (SUN) 8.3 (SAT) 8.4 (SUN) 8.31 (SAT)

町田キャンパス / 多摩キャンパス
6.15 (SAT) 7.20 (SAT) 8.24 (SAT)

日程により実施するイベント内容が異なります。詳細は「国士館大学ホームページ」をご確認ください。

事前申込制 国士館大学ホームページからお申し込みください。事前申し込みはこちら

夢をあきらめない 国士館大学

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1 TEL: 03-5481-3211 (入試部)
E-mail: ad1@kokushikan.ac.jp https://www.kokushikan.ac.jp

小林選手躍動

日本ASチーム 五輪出場権獲得



世界水泳ドーハ2024 チームTRで力強くポーズする小林選手(中央左手前)＝アフロ提供

世界水泳ドーハ2024が2月2日から10日にかけてカタール・ドーハで開かれ、体育学部3年の小林選手がアーティスティックスイミングのチーム種目に出場し、フリールーティン(FR)2位、テクニカルルーティン(TR)3位という好成績を収めた。日本チームは、4日に

国士館から世界へ



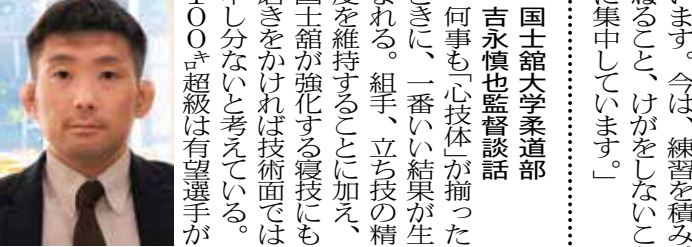
柔道100kg超級 斉藤 立さん(22歳)

国内最高の環境で育った立さんは、今、2024年パリ五輪の柔道日本代表にも選ばれた。190cm、170kgの体格は、ひととき目を引く。卒業後はジャパニーズエリートとして株式会社に入社し同社柔道部に所属することが決定している。本学の魅力を聞いた。



多摩キャンパスの柔道場で稽古する斉藤選手

「立さんは相手の体力を奪い、立ち回しは練習が大切です。本学には、立さんと同じような環境が揃っています。卒業後はジャパニーズエリートとして株式会社に入社し同社柔道部に所属することが決定している。本学の魅力を聞いた。」



「心技体」最後は気迫と意地

立さんは、柔道を通じて「心技体」を鍛え、最後は気迫と意地を競う。本学で培った精神力が、彼を世界へと導いた。

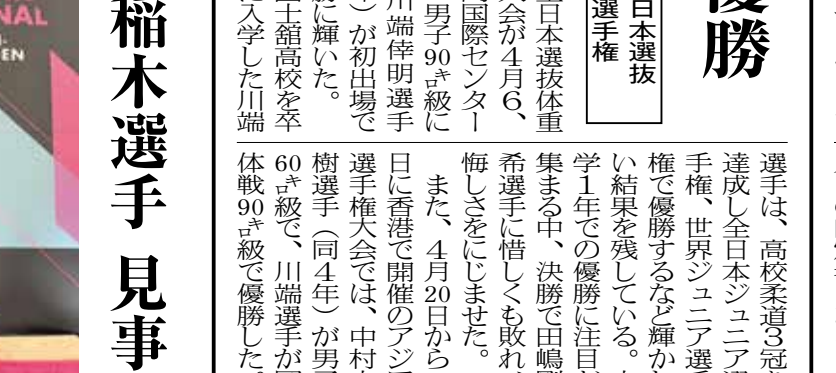
川端選手 初陣で準優勝



決勝で果敢に攻める川端選手＝アフロスポーツ提供

「謙虚であれ」という教え。立さんは、柔道を通じて「心技体」を鍛え、最後は気迫と意地を競う。本学で培った精神力が、彼を世界へと導いた。

稲木選手 見事3冠



新体操ドイツ国際大会 金メダルを手にする稲木選手

改訂版が多いため、一つ一つの課題を突き詰めてきた」と、大会を振り返った。立さんは、柔道を通じて「心技体」を鍛え、最後は気迫と意地を競う。本学で培った精神力が、彼を世界へと導いた。

女子準優勝に輝く

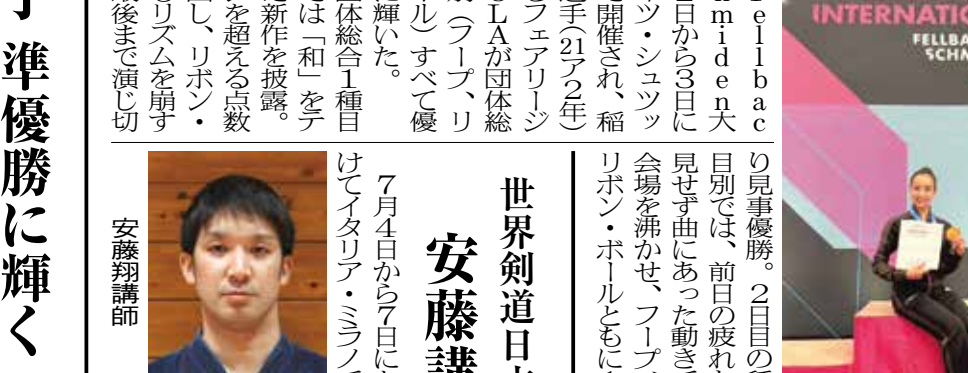


女子団体形に出場した選手らとコーチの田中理沙体育学部講師(中央)

全日本空手道 団体形

女子団体形に出場した選手らとコーチの田中理沙体育学部講師(中央)。

世界剣道日本選手団

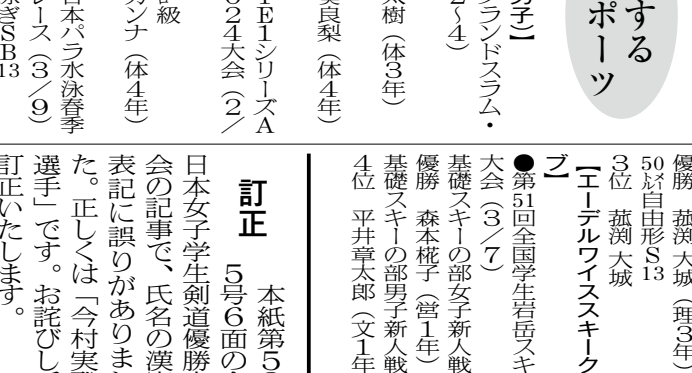


安藤翔講師

安藤講師が主将

世界剣道日本選手団の安藤翔講師が主将を務める。

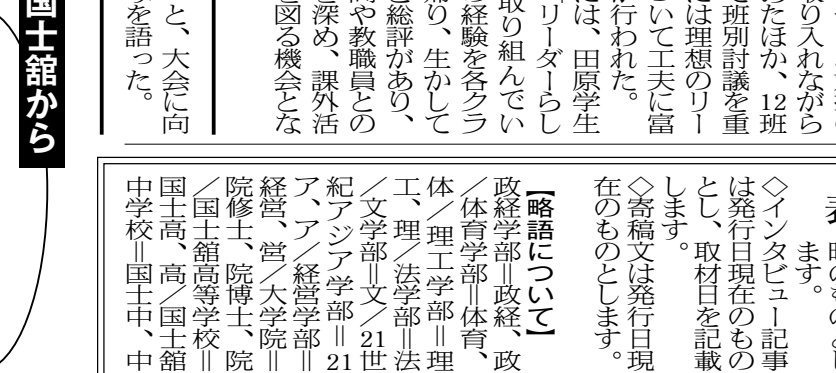
レスリング部創部65周年



歴代選手ら200人祝う

レスリング部創部65周年記念式典。歴代選手ら200人を祝う。

リーダーズキャンプ



手つなぎ鬼ごっこで体を温める学生ら

リーダーズキャンプ。手つなぎ鬼ごっこで体を温める学生ら。

活躍するスポーツ

- 柔道部(男子) 2024年アジア選手権大会(2) 優勝
- 柔道部(女子) 2024年アジア選手権大会(2) 優勝
- 柔道部(男子) 2024年アジア選手権大会(2) 優勝

応援しよう!

- 柔道部(男子) 2024年アジア選手権大会(2) 優勝
- 柔道部(女子) 2024年アジア選手権大会(2) 優勝
- 柔道部(男子) 2024年アジア選手権大会(2) 優勝

国士館から

羽ばたくアスリート。国士館から活躍するアスリートたち。

国士館創立110周年記念事業の寄付金募集

国士館創立110周年記念事業の寄付金募集。募金の趣意、概要、報告、募集期間、方法、お問い合わせ先。